

## 那珂川町 校務 DX 計画

平成30年度より校務支援システムを導入し、校務管理や成績管理等のデジタル化の推進及び教職員の資質・指導力の向上を図り、令和5年度には勤怠管理システムの導入し、教職員の働き方改革に向けた環境整備を進めた。また、令和2年度の1人1台端末導入後は、授業支援ソフトウェアや学習eポータル等の活用やGIGAスクール運営支援センターによるICT活用の支援を行い、授業のデジタル化や効率化に向けた環境整備を進めた。

各種デジタル化を進めてきたが、学校現場においては、依然として紙の資料が多くみられるのも事実であり、業務の円滑化・効率化の観点から、更なるデジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要がある。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、具体的な取組みを次のとおり定める。

### (1) 校務支援システムのクラウド化

現在校務支援を含めたシステムを利用する際には、学校内にあるネットワークからアクセスする必要があるため、限られた場所での業務を強いられている。

今後、セキュリティ対策を十分講じたうえで、各種システムをクラウド化することにより、職員室のみならず多様な働き方を実現し、教職員の負担軽減並びに業務の効率化を進めていく。

### (2) ペーパーレス化の推進

学校から保護者への連絡としてメール配信サービスを活用し、各種連絡をデジタル化しているが、紙での提出を求めるケースも残っている。また、業務としても一部ペーパーレス化が進んでいない。

今後、保護者や生徒への各種連絡のデジタル化、職員間の情報共有や資料のアーカイブ化を進め、ペーパーレス化の推進を図る。

### (3) FAX及び押印の見直し

現在学校ではFAXの活用や押印、署名が必要な書類を取り扱っており、これらは今後取り組むクラウド環境を活用した校務DXを阻害する要因になる。

今後、緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、FAXのほうが電子メール等より効率的な場合など一部を除き、FAX及び押印の原則廃止に向けて制度・慣行の見直しを行うとともに、FAXでの送付や押印を求めている関係団体・業者への慣行の見直しを求める働きかけを行う。

上記項目を含め、更なるICTを活用した校務の効率化を調査研究し、働き方改革を推進していく。